

平成 23 年度県高教研工業部会研究発表会
「カーデザインという授業の取り組み」

山形県立東根工業高等学校
総合技術科／デザイン専攻 長澤 英一郎

1 はじめに

平成 18 年度の一学級減に伴い、総合技術科として 1 つの学科の中に自動車専攻 20 名とデザイン専攻 20 名が一緒になった体制となる。

2 新しい取り組み

平成 20 年度より、自動車専攻の生徒とデザイン専攻の生徒が共にデザインを学ぶことができる授業を選択科目の中で展開するという事で自動車とデザインを mix したカーデザインという分野を模索し、実践することにした。

3 本題

両専攻の生徒を同じ土俵に立たせるため、発想力の訓練を行う。身の回りにあるモノを発想の転換を用いてデザインする。次に基礎的なデッサンを行う。モノをしっかりと見る目と嘘を伝えない為に基礎的なデッサンの描き方を教える。発想、デッサン力が備わった所で実施に移る。

●テーマは「免許を取ったら乗りたい車」で、免許を取ったら車で何をしたいか、どこへ行きたいか、誰と行きたいか、車に乗っている間はどんな気持ちでいたいかなど、想像力を膨らませて、新しい自動車のデザインを提案することにした。(4~5名のチームを作り、取り組むこととする。)

●リサーチ(調査)・発表

車とはどんな使い方をするのか、誰と乗るのか、など実際に自分が体験したことなどをリアルに思い浮かべ、たくさんの事柄に「気づく」作業を行い、発表させた。

●コンセプト作成・発表

各チームでテーマに沿った新しい車を考える。ターゲットユーザーを設定し、そのユーザーのライフスタイルや価値観を考え、発表させた。

●レイアウト作成

自分たちの考えている車の内装はどのぐらいのサイ

ズになるのかを知るため、実際の車を使って寸法測定し、模造紙に 5 分の 1 スケールの図面を作成した。

●アイディアスケッチ

何十枚ものアイディアスケッチを行う。

●デザイン作成(外観・内装)

何十枚の作品の中から 1 つの案を選び、トレースし自分の考えた新しい車を決定する。最後にコピックとパステルを使用し着色を施す。

●プレゼンボード作成

最終的に自分たちの考え、アイディア、デザインをプレゼンボードに落とし込む。

●プレゼンテーション

自分たちの考えを伝え、たくさんの意見を吸収する能力を養った。

4 感想

立ち上げ当初は、デザイン専攻の生徒がこの授業をリードして行くのだろうと考えていた。しかし、カーデザインという分野は男子が憧れるものであり、まして自動車専攻の生徒たちは車が大好きである。目を輝かせ、自分がカーデザイナーになった感覚で楽しんで授業に取り組む姿勢が見られた。このカーデザインという授業を通して、たくさんのコトに気づき、色々なコトを考え、その考えを人に伝えることによって、デザインの楽しさを感じてもらうことができたと感じる。そして「夢を夢で終わらせない」という気持ちを持つてくれることを期待する。

5 おわりに

現在は新しい車を構想する段階で終わってしまっているため、達成感が小さい感じがする。実際のカーデザインの現場のように、最終的にはクレイモデルを製作し、立体物としての作品を打ち出す所まで持っていくべきではないかと考えている。また、他校と連携を図ることによって、より可能性が見出せると感じる。